

# 農 研 速 報

令和元年 9月 3日発行

茨城県農業総合センター農業研究所  
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402  
TEL029-239-7212 FAX 029-239-7306

生育状況(8月27日現在、水戸市)

県名	生育ステージ		生育の状況	問題点	これまでに講じた対策及び今後の方針	備考
	本年	平年対比				
茨城県 (水戸市)	ベニアズマ 塊根肥大期	平年より やや遅い	<p>気象概況:生育期間(7月29日～8月26日)の平年値(直近5ヵ年)との比較。 (水戸地方気象台観測値) 上記期間の平均気温は27.8℃で、かなり高かった(+1.5℃)。 降水量は81.0mmで、平年(133.2mm)に比べてやや少なかった。 日照時間は204.6時間で、平年(174.2時間)に比べてやや多かった。</p> <p>地上部の生育(つる重)は、3品種とも平年よりも重かった。</p>	イモキバガやナカジロシタバなどによる食害が見られる。	病害虫、特にナカジロシタバの発生に注意し、適宜防除を行う。	
	べにはるか 塊根肥大期	平年より 遅い	<p>地下部の生育は、「ベニアズマ」、「べにはるか」では1株当たり塊根数は平年並だったが、塊根1個重、総いも重は軽かった。 「タマユタカ」では、1株当たり塊根数が平年並だったが、塊根1個重、総いも重はやや重かった。 8月の平均気温が高く、特に「タマユタカ」で、大きく肥大した。 「ベニアズマ」、「べにはるか」では、7月の低温の影響が大きく、平年より肥大はやや遅れている。</p>			
	タマユタカ 塊根肥大期	平年より やや早い				

表 生育調査(挿苗後103日、8月27日調査)

品種	つる重			1株当たり塊根数			塊根1個重			上いも重			総いも重		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)
ベニアズマ	410.2	130 (314.5)	143 (286.4)	4.5	96 (4.7)	108 (4.2)	120.2	86 (140.6)	84 (142.8)	199.9	78 (255.0)	88 (227.7)	216.3	82 (264.3)	92 (235.8)
べにはるか	415.6	100 (417.6)	116 (357.6)	4.5	99 (4.6)	103 (4.4)	104.9	80 (130.6)	76 (137.7)	179.9	79 (226.4)	81 (223.2)	188.8	79 (237.7)	81 (232.1)
タマユタカ	245.2	135 (181.3)	137 (179.1)	3.8	103 (3.7)	94 (4.0)	110.2	97 (113.4)	117 (94.1)	157.7	106 (149.3)	124 (127.4)	165.3	100 (165.5)	116 (142.0)

( )内は前年または平年の数値。平年値は平成26～30年(5ヵ年)のデータの平均値。※ただし「べにはるか」は平成28～30年(3ヵ年)のデータの平均値

塊根は直径3mm以上のものとした。

挿苗日:5月16日(「ベニアズマ」、「べにはるか」は黒マルチ栽培、「タマユタカ」は無マルチ栽培)、栽植密度:400株/a(畦間100cm×株間25cm)、施肥量(kg/a):N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=0.3-1.0-1.0



農研所内圃場における生育状況 (8月27日撮影)



ベニアズマ



ベにはるか



タマユタカ